

鬼滅の刃 第3期 第6話

タイトル: 柱になるんじゃないのか！

キャラ リスト:

竈門 炭治郎、竈門 禰豆子、不死川 玄弥、不死川 志津、不死川 寿美、不死川 貞子、不死川 弘、不死川 就也、玄弥 (小)、実弥 (小)、半天狗、積怒、可樂、哀絶、空喜

Japanese script from Netflix subtitles (kitsunekko.net)

English translation from Gogoanime subtitles

Transcribed and organized by Kiriban

Do not ask for permission to edit. Please read my [FAQ](#) for more usage details.

炭治郎 玄弥！

玄弥 ウウ…。

ウウウ…ウウ…グウウ…グウウ…！

玄弥 ウウ…ウツ…。

炭治郎 ああ…。

玄弥 ウウ…ウツ…ウウツ…ウウツ…。

炭治郎 げん…や…。

可樂 があああ！

炭治郎 あっ！

可樂 なんだ、この斬撃は！再生できぬ！

炭治郎 (考え) 攻撃は効いてる！

可樂 灼けるように痛い！

積怒 落ち着け！見苦しい！

遅いが再生自体はできている！

可楽 ぐああ…。

炭治郎 くっ…。

(考え) 玄弥の状態が分からないが、一体斬ってくれたことで分かった！

(考え) 恐らく、四体同時に斬ったところで、妓夫太郎たちのようには倒せないんだ！

くっ…。

(考え) この喜怒哀楽鬼への攻撃は、ほとんど意味がない！

あっ…禰豆子！

禰豆子 ウウウ…。

炭治郎 禰豆子！

禰豆子 ウウ…ウウツ…。

炭治郎 ううっ！

禰豆子 んっ…ウウツ！

炭治郎 禰豆子！

禰豆子 ウウツ！

炭治郎 (考え) ずっと気になっていたことがあった。

(考え) 頸が急所じゃないなんてことがあるのか？

(考え) 違和感の正体…一瞬だけしたあのにおい…そう。あれは…五体目のにおいだ！

(考え) 五体目がいるんだ！ 見つけなければ…五体目の鬼の頸がきつと！

うわっ！

玄弥 ううっ…図に乗るなよ！ 上弦を倒すのは…俺だ！

炭治郎 玄弥…！

玄弥 上弦の陸を倒したのはお前の力じゃない！だからお前は柱になってない！

炭治郎 あっ...うん、そうだよ！

玄弥 お前なんかよりも...先に...俺が...！

炭治郎 玄弥！よだれが出てるぞ！どうしたんだ？俺の首を絞めてるし...。

玄弥 ううっ！

炭治郎 げっ...。

玄弥 柱になるのは俺だ！

炭治郎 なるほど！そうか、分かった！俺と禰豆子が全力で援護する！三人で頑張ろう！

玄弥 えっ？

炭治郎 五体目の鬼がいるはずなんだ。探すから、時間を稼いでくれ！

玄弥 お前の魂胆は分かってるぞ！そうやって油断させ...ああ？

炭治郎 あっ...危ない！

積怒 (考え) もう怒り鬼が復活した！急げ！

玄弥！五体目見つけたらすぐ教えるから、鬼の相手を頼む！

玄弥 あっ...。

もう全員復活してやがる！ううっ...くっ...。

禰豆子 ウウ...。

炭治郎 禰豆子だけは斬らないよう気をつけてくれ！俺の妹だから！

禰豆子 ムッ。

玄弥 あっ...。

空喜 ううっ...。

ぐっ...うっ...。

炭治郎 (考え) 五体目はどこだ？

(考え) 禰豆子たちが抑えてくれているうちに見つけないと！

禰豆子 ウウ～！

可樂 ぐっ…。

禰豆子 ウウ…。

炭治郎 あっ…。

(考え) これは…。

(考え) 団扇の鬼が風を使ったおかげで、温泉の硫黄のにおいが飛んでる！

(考え) 探れ…集中しろ！

ハッ！

半天狗 ううう～…大丈夫じゃ…わしは見つからぬ…大丈夫じゃ…悪いヤツらは喜怒哀楽が倒してくれる…。

炭治郎 (考え) いた！いた…いた…見つけた！

玄弥！

積怒 くっ…空喜！

空喜 ぐうっ！

炭治郎 んっ…。

空喜 ギヤア！

炭治郎 北東にまっすぐだ！くっ…。

五体目は低い位置に身を隠してる！

玄弥 あっ…！

積怒 くっ…ふんっ！

炭治郎 んっ…。

玄弥 ぐあっ！

炭治郎 玄弥！

玄弥 あっ…。

炭治郎 向かってくれ！援護する！

空喜 ギヤア！

玄弥 (考え) 北東！

空喜 あっ...ううっ！

炭治郎 ううっ！

(考え) マズい！またいかずちが！

空喜 ふうっ！

炭治郎 ぐっ...。

禰豆子 ウッ！

可樂 ぐあっ！

炭治郎 禰豆子！玄弥を助けろ！いかずちの鬼に、玄弥の邪魔をさせるな！

禰豆子 ウッ...ウッ！

空喜 ううっ...。

可樂 ううっ...。

炭治郎 んっ...。

うう...。

(考え) 飛ばされるな！絶対にこの場から離れるな！

あっ...！

(考え) マズい！いかずちの攻撃も来る！

ぐうう...あっ！

積怒 くっ...！

禰豆子 ウウウ～！

ウッ...ガハッ...。

炭治郎 ねずこ～！

玉壺 ヒョッヒョッヒョッ！

苦しいか～？ 苦しいだろう？

時透 (考え) どこも一緒か…。

玉壺 ヒョッヒョッヒョッ！ 呼吸で技を出せないばかりか、じきにお前はその中で息絶える！

ヒョヒョヒョッ！ ヒョヒョヒョヒョッ！ その痩せ我慢の顔、とてもいいですねえ！ 作品への想像力が高まります！

禰豆子 ウウウ…ウウ…。

哀絶 あがくな。哀しくなる。

積怒。

禰豆子 ウウッ！

積怒 分かっておる！ そのまま磔に…！

あっ…！

空喜 あっ…くっ！

積怒 (考え) あのわっぱ…さっきより更に速くなった！

(考え) いや、そもそも会った時点で、あの方からの情報よりも…。

(考え) 桁違いの反射、戦いへの適応！

空喜 ぐああっ！

積怒 (考え) 瀬戸際での爆発的な成長！

禰豆子 ウウッ！

哀絶 ぐっ…。

禰豆子 ウウッ…ウウッ！

哀絶 ぐっ！ぐあっ！

積怒 くっ…。

哀絶 ぐああああ！

禰豆子 ウッ…ウウ…。

積怒 (考え) マズい！

(考え) 可楽…可楽！

炭治郎 うおお！

可楽 このわっぱが！

炭治郎 がはっ！

可楽 よし！あとは鉛玉を飛ばすわっぱを！

あっ…。

チッ…斬られていた！

このガキ！

炭治郎 玄弥！

右側だ！南に移動してる！探してくれ！

玄弥 (考え) くっ…探してる！探してんだよ、ずっと！

(考え) 術か？また何かの術で見えねえのか！

(考え) クソッ…クソッ…クソッ！どこだ！長引けば長引くほど、こっちが消耗してしまう！

可楽 くうっ…ウウッ！

炭治郎 ぐあっ！

くっ…西だ！もっと右！近くにいる！低い！

玄弥 ううっ…。

(考え) どこだ！どっ…。

炭治郎 玄弥！低い！

玄弥 えっ？

あっ！

半天狗 ヒイイイ...ヒイイ！

玄弥 ちっさ！

半天狗 ヒイイイ！

玄弥 (考え) 小さすぎだろ！本体こいつか！

(考え) こいつが？クソったれが！見つけられるか、こんなもん普通！野ねずみ程度の大きさじゃねえか！

(考え) あの四体が強力すぎんだよ！あんなのをこのチビが操ってんのか！あの四体を相手しながら、このねずみ捕り...クソめんどくせえ！今まで鬼殺隊の人間がやられてきた構図が見えたぜ！

(考え) ふざけんな！小賢しい！

(考え) 忿懣やるかたねえ！

半天狗 ぎゃああ！

玄弥 (考え) よし、いける！勝った！

あっ...！

半天狗 ぐあああ...。

玄弥 (考え) き...斬れねえ...斬れねえ！

(考え) バカな！バカな！こんな...指一本の太さしかねえ頸だぞ！

くっ！

半天狗 うがああ！あああ...。

玄弥 がっ...！

半天狗 ううう...ヒイイ！

玄弥 (考え) 効かねえ！

ハッ！

がっ...！

(考え) しまった！もたつき過ぎた！

(考え) よけられねえ！

(考え) やられる...頸は回復できねえ...

(考え) 兄貴...

(考え) 俺は柱になって、兄貴に認められたかった。そして、あのときのことを...謝りたかった。



玄弥 (叙事) 俺のおふくろは、体の小さな人だった。早い段階で、俺はおふくろよりも大きくなった。

(叙事) おふくろは、朝から晩までとにかく働いてた。俺は、おふくろが寝てるところを見たことがなかった。

(叙事) 親父は図体がデカイ上に、ろくでもなかった。人に恨まれて刺されて死んだのは、自業自得だ。親父は、おふくろや俺たちをよく殴ってた。

(叙事) あんな小さな体で、化け物のような親父にひるみもせず、俺たちをかばってくれたおふくろは、すごい人だと思う。

玄弥 (小) 遅いね、母ちゃん。

実弥 (小) ん？

玄弥...寝れないか？

玄弥 (小) 兄ちゃんだって...

実弥 (小) ハア...俺、おふくろ捜してくる。

玄弥 (小) あっ...俺も行くよ。

実弥 (小) いや...俺が行ってくるから、お前は家にいてくれ。

玄弥 (小) ん？

実弥 (小) ハア...約束したろ？

玄弥 (小) あっ...分かった。

実弥 (小) じゃ、頼んだぞ。

玄弥 (小) うん。

貞子、就也 ウフフフ...。

玄弥 (小) ん？

貞子 兄ちゃん。

就也 兄ちゃん！

寿美 兄ちゃん！

弘 兄ちゃん。

玄弥 (小) あっ...なんだ。みんな起きてたのか...。

貞子 母ちゃん、大丈夫かなあ...。

玄弥 (小) 大丈夫だって。兄ちゃんが捜しに行ってくれてるから。

弘 でも...。

玄弥 (小) うん...。

貞子 今まで、こんな遅くなることなかったのに...もう夜が明けちゃうよ...。

玄弥 (小) 大丈夫だよ。疲れてるだろ？眠れって。起きたら、母ちゃんも兄ちゃんも戻ってるよ。

弘 あっ...母ちゃんだ！

貞子 母ちゃん！

寿美、就也 母ちゃん！

玄弥 (小) あっ...。

待て！開けるな！母ちゃんじゃないかもしれな...！

あっ...！

ああっ...ああああ！

志津 ウウツ！

玄弥 (小) あっ！

志津 ウウウ...。

玄弥 (小) (考え) 獣か？野犬...いや...狼だ！

(考え) 暗くて見えない！

志津 アアア！

玄弥 (小) (考え) 速い！

実弥 (小) ううっ！

玄弥！逃げろ！

玄弥 (小) 兄ちゃん！

あああ...ハッ！ああ...こと！あっ...就也！

あっ...弘！貞子！寿美！

き...傷口を押さえろ！

すぐ医者を呼んでくるから、あと少し頑張るんだ！

(考え) な...何が起こってるんだ？さっきのはなんだったんだ？兄ちゃんは...いや、今はみんなのケガを！

あっ！

あっ...兄ちゃ...。

ああ...母ちゃん！うわあああ！

母ちゃん！母ちゃん！なんでだよ...なんでだよ！なんで母ちゃんを殺したんだよ！

うわああ！うわああ！人殺し！人殺し～！

玄弥 (考え) ひどいこと言って、ごめん、兄ちゃん…。

(考え) 全部…全部言い訳にしかないけど、混乱していたんだ。

(考え) 就也も弘もことも貞子も寿美も冷たくなって…返事をしなくて…。

(考え) ダメだ。もう死ぬというのが分かってしまって…あの狼は…狼だと思ったものは…鬼になった母ちゃんだった。

(考え) 俺たちを守るために戦って、夜が明け始めた外に落ち、初めて、家族を襲ったのが母ちゃんだと気付いたとき…兄ちゃんはどんな気持ちだったろうか？

(考え) 最愛の母を手にかけて、打ちのめされていたときに、必死で守った弟から罵倒されて、どんな気持ちだったろうか？

(考え) 一緒に守ろうって、約束したばかりだったのに…。

実弥 (小) (過去) 玄弥。

玄弥 (小) (過去) あっ…。

実弥 (小) (過去) 家族は俺たち二人で守ろう。

玄弥 (小) (過去) あっ…。

実弥 (小) (過去) 親父は刺されて死んじゃった。あんなのは別にいないほうが清々するけど…父親がいねえとなると、みんな心細いだろうから…。

玄弥 (小) (過去) あっ…。

実弥 (小) (過去) これからは、俺とお前で、おふくろと弟たちを守るんだ。いいな？

玄弥 (小) (過去) あっ…ああ…「これからは」じゃなくて、「これからも」だよな？

実弥 (小) (過去) あっ…。

玄弥 (小) (過去) ふん！

実弥 (小) (過去) フツ…フフ…ハハハハッ…。

玄弥 (考え) ごめん、兄ちゃん。謝れないまま、俺は死ぬ。

(考え) 兄ちゃんに笑いかけてもらったときの、都合のいい走馬灯を見て…。

(考え) 俺、才能なかったよ、兄ちゃん。呼吸も使えないし、柱にはなれない。

(考え) 柱にならなきゃ、柱に会えないのに、頑張ったけど、無理だったよ…。

実弥 (過去) てめえみたいなグズ、俺の弟じゃねえよ！ 鬼殺隊なんかやめちまえ！

玄弥 (考え) なんでだよ！ 俺は兄ちゃんの弟なのに！

炭治郎 げんや～！

諦めるな！

玄弥 ハッ！

積怒 ぐあっ！

炭治郎 もう一度狙え！

玄弥 あっ！

炭治郎 もう一度頸を斬るんだ！

絶対諦めるな！ 次は斬れる！

俺が守るから！

頸を斬ることだけ考えろ！

玄弥 あっ…。

炭治郎 柱になるんじゃないのか！ 不死川玄弥！

玄弥 ハッ！

あっ！

炭治郎 (考え) しまった！ 後ろ！

哀絶 激涙刺突！

炭治郎 (考え) マズい！ くらった！ もろに！

ぐっ…。

あれ？

あつ…。

玄弥 行け…。

炭治郎 ハッ…玄弥！

玄弥 俺じゃ…斬れない…。

お前が…斬れ！

炭治郎 ハッ…。

玄弥 今回だけは…お前に…

炭治郎 玄弥…。

玄弥 … 譲る！

炭治郎 くっ…んっ…。

玄弥 うう…。

ううっ！

炭治郎 (考え) 必ず…俺が…。

ハッ…。

半天狗 ううう…。

炭治郎 (考え) いた！

くっ…。

(考え) 小さい！

半天狗 ヒイイ…。

炭治郎 んっ…くっ！

半天狗 ううう…。

炭治郎 (考え) 逃がさないぞ。

半天狗 ううう…。

ぬあっ！

ヒイイ…ヒイイイ！

炭治郎 うおおおお！